

令和元年度

倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

〈評価基準〉

A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった

B・・・当初の目的・目標を達成した

C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった

D・・・当初の目的・目標を大きく下回った

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
倉吉市教育の創造	第2期倉吉市教育振興基本計画の進捗よく管理(5年計画の4年目)	1 ・基本計画に基づく重点施策実施計画の策定 ・教育に関する事務の点検・評価の推進	教育総務	基本計画に基づく重点施策実施計画の策定及び定例教育委員会へ実施計画提案		「倉吉市教育行政の点検及び評価」を市議会へ提出 教育振興基本計画(第3期)策定手順提案	第3期策定作業チームの設置 第3期策定会議①		進捗状況チェック、中間評価 第3期策定会議②
	倉吉市教育委員会の活性化	2 ・倉吉市教育の方針の明示 ・住民の意向や教育現場の実情の把握 ・総合教育会議の充実 ・教育委員の活動の顕在化	教育総務	・計画訪問・諸行事等への参加 ・市ホームページによる情報発信(リレコラム等) (随時)教育長リレコラム(第1回)			教育委員リレコラム(第2回)	教育委員リレコラム(第3回)	
	「倉吉市立小・中学校の適正配置等について」に基づく学校再編の推進	3 ・適正配置の課題の整理と各地域・関係団体との協議の実施	学校教育		第1回小学校適正配置協議会(5/9) ・協議会の開催(年間)	【集合学習】小鴨・上小鴨6/28	第2回小学校適正配置協議会(7/30) 【集合学習】小鴨・上小鴨7/4 灘手・成徳7/4, 16	第3回小学校適正配置協議会(8/28)	【集合学習】灘手・成徳9/9
	学校教育施設・教育施設の整備運営	4 ・ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業 ・小鴨小学校学校用地購入、登記 ・長寿命化計画策定に係る調査 ・ICT機器整備(PC教室等教育用LANシステム含む)整備計画の策定ほか	教育総務						
				[ブロック塀等改修工事、設計]					
				[エアコン設置工事、設計]					
				[小鴨小学校用地購入、登記]					
				[長寿命化計画策定に係る調査]					
				[ICT機器整備に係る計画策定ほか]					
				[施設修繕全般]					

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
定例教育委員会へ中間評価の報告	第3期策定会議③	第3期策定担当者会議④	第3期策定担当者会議⑤	第3期策定担当者会議⑥	第3期基本計画骨子作成	・実施状況チェック、各課の自己評価 ・審議会等による評価の実施 ・第3期基本計画策定会議を6回開催し、第2基本計画に基づく事業の振り返りと第3期基本計画策定に向けて協議を行い骨子案を作成。3月教育委員会に提出した。	B		
	教育委員リレーコラム(第4回)	・総合教育会議の開催	教育長リレーコラム(第5回)		教育委員リレーコラム(第6回)	学校計画訪問、諸行事へ積極的に参加した。また、計6回のリレーコラムや教育委員会定例会、市長との意見交換の場である教育総会議を2回開催し、その会議録等をホームページに掲載し、情報発信に努めた。	B		○各施策について、概ね当初の計画どおり実施することができた。
第4回小学校適正配置協議会(10/2) 【集合学習】 高城・北谷・社 10/29 小鴨・上小鴨 10/28、29 明倫・成徳・関金 10/11	第5回小学校適正配置協議会(11/19) 小学校適正配置協議会 学校視察(11/20瑞穂小学校) (11/22湖南学園) 【集合学習】 高城・北谷・社 11/8、15、18 灘手・成徳 11/15、29 小鴨・上小鴨 11/15	【集合学習】 高城・北谷・社 1/24	第6回小学校適正配置協議会(1/26)	・意見集約 明倫地区説明会(2/17) 灘手地区説明会(2/29)	高城地区説明会(3/13) 社地区説明会(3/14)	・倉吉市立小学校適正配置協議会を立ち上げ、計6回の会の開催と2校の学校視察を行った。委員の意見を踏まえながら、複数の修正案を提示した。 ・各協議会の概要をHPにアップすると共に、各自治公民館より班回覧することで、市全体に周知した。	B	B	○小学校適正配置協議会を立ち上げ、協議を進めた。 *成果指標 A：小学校適正配置協議会での委員の意見を踏まえながら、適正配置についての修正案を複数提示するとともに、各地区での説明を行い、理解を図る。 B：小学校適正配置協議会を開催し、委員の意見を踏まえながら、適正配置についての修正案を複数作成する。 C：小学校適正配置協議会を開催するが、適正配置について修正案を提示するに至らない。
→						・ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業については、計画のとおり完了した。 ・小鴨小学校用地購入については、6月に所有権移転登記を完了し、10月に駐車場整備を完了。 ・長寿命化計画策定については、R2年度の施設調査に必要な各施設情報を整理し、関係各課と情報共有をした。 ・ICT機器整備については、計画策定検討会議を3回開催し、令和5年度までの整備計画を策定することができた。 ・施設修繕については、予算の範囲内において、緊急性の高いものから改修等を行った。	B		

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	2	学力向上の推進	1	学校教育	中学校区教育の計画作成		各校区代表(各中学校)へ通知		中学校区別小中合同研修会(久米中校区ホワイトボードミーティング 大阪府大東市)	
			2	学校教育	研究主任研修会 中学校NRT(標準学力検査)実施 全国学力学習状況調査(4/18)	・要請訪問		学校計画訪問での指導助言		全国学力学習状況調査分析及びホームページアッパ
			3	学校教育	加配教員配置(小学校31名、中学校21名)			・加配教員の活用状況聴き取り		
			4	学校教育	小学校外国語教科化への先行実施2年目(年間) 外国語活動支援員授業計画作成 継続ALT勤務開始 新規ALT任用開始 小学校英語専科教員計画作成・実施・助言(年間)	中学校区別外国語指導助手(ALT)授業計画作成 授業力向上のための研究授業等での指導助言(年間)		ALT任用終了・帰国	新規ALT任用開始	

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
	中学校区合同研修会 (河北中学校区 総社市「だれも のが行きたくな る学校づくり」 総社市教委指導 主事11/14) 中学校区合同研 究授業 東中校区(11/18)			特色ある中学 校区教育の成 果と課題の把 握と改善策の 提案		・中学校区で講師を 招聘し、研究授業及 び研究会を実施した り、小中連携の推進 のための協議をして いる。	B	○全国学力・学習状況 調査においては、小学 校では国語、算数とも 全学校で全国平均をや や上回った。中学校で は国語の「読むこ と」、数学の「関 数」、英語の「聞くこ と」「書くこと」にお いて全国をやや下回っ ており、課題である。 *成果指標 A：全国平均より3 ポイント 以上上回る B：全国平均と概ね 同程度 C：全国平均より3 ポイント 以上下回る
学校計画訪問 での指導助言 (10/2社小) (10/9西郷小) (10/15鴨川中) (10/30高城小) 研究主任研修会	学校評価によ る点検	成果と課題の 共有と改善策 についての検 討(研究主任 者会等) 中学校CRT 実施	授業づくりに 対する指導助 言 小学校NRT 実施	授業づくりに 対する指導助 言 中学校CRT 結果に基づ き、授業改 善、個別対応 等実施	学力実態の把 握と分析研修 計画	・全国学力・学習状 況調査をはじめNRT やCRTなど各種調査 の結果の分析から、 授業改善の視点を明 確にして日々の実践 に活かす取組が進め られた。 ・要請訪問指導助言 13回	B	○小学校においては、 積極的に県事業を受 け、全国学力・学習状 況調査結果の分析か ら、授業改善の視点を 明確にした取組を進め ている。 ○「話し合う活動を通 じて、自分の考えを深 めたり、広げたりする ことができている」と 答えた児童生徒の割合 *成果指標 A：80%以上 B：60%以上8 0%未満 C：60%未満
要請訪問 (10/2成徳小)		要請訪問 (12/4成徳小)					B	○「話し合う活動を通 じて、自分の考えを深 めたり、広げたりする ことができている」と 答えた児童生徒の割合 *成果指標 A：80%以上 B：60%以上8 0%未満 C：60%未満
ALTシャドーイ ング(10/3) 指導力向上事 業研修協力校 支援研修 (10/18) 小中学校外国 語担当者会・ 東中校区 (10/18)	新規ALT訪問・ 西中(11/14) 小中学校外国 語担当者会・ 河北中校区 (11/15) 新規ALT訪問・ 久米中(11/14) 指導力向上研 究授業(11/26)	小中学校外国 語担当者会・ 久米中校区 (12/3) 小中学校外国 語担当者会・ 西中鴨川中校 区(12/5) 指導力向上協 力校会議 (12/13) TKA小鴨小 (12/19)	英検IBAの実施 J E Tプログ ラム参加者等 中間研修 (1/24) 小学校外国語 教科書活用研 修会(1/30)	中学校英検IBA 結果に基づ き、授業改 善、個別対応 等実施		・昨年度に続き、小 学校に外国語専科教 員を配置し、明倫 小・成徳小・灘手小 の3年生から6年生ま での授業を担当し た。積極的に授業公 開をし、また県の事 業を活用し、配置校 のみならず、市内小 中学校の先生方に研 修の機会を提供し た。 ・ALTが1つの小学 校に集結し、授業す る行事(TKA)を実施 した。児童に好評 で、英語に親しむよ い機会となるため、 継続していきたい。	B	○成徳、明倫、灘手小 学校に英語専科教員を 1名配置(兼務)し、 英語の授業を実施して いる。県の事業を活用 するなどし、配置校だ けでなく市内小中学校 の先生方に研修の機会 を持つことができた。 *成果指標 A：子どもの意識 (好き) 90%以上 B：子どもの意識 (好き) 85%以上 C：子どもの意識 (好き) 85%より低い

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	3 豊かな心とたくましい体の育成	1 ・人権教育の充実 (育てたい資質・能力を明確にした実践)	学校教育	第1回人権教育主任者会(倉吉市・鳥取県の取り組みについて) H31人権教育指定校(河北小学校)		第2回人権教育主任者会(H30人権教育指定校・北谷小と河北小の実践発表)			
		2 ・道徳教育・体験活動の充実(乳幼児ふれあい事業)	学校教育	乳幼児ふれあい会担当者会	乳幼児ふれあい会(小学校13校、中学校5校は家庭科の中で実施) 小鴨小 5/29, 30, 31	道徳授業改善についての発信 乳幼児ふれあい会 上灘小6/7, 8 明倫小6/28 上北条小6/10 関金小6/21 西郷小6/17, 24 灘手小6/25 河北小6/25, 27 成徳小6/12 北谷小6/27 上小鴨小6/26 高城小6/4	乳幼児ふれあい会 社小7/3, 4	初任者研修	乳幼児ふれあい会 上小鴨小9/11 西郷小9/11, 12 河北小9/27, 17 高城小9/3 小鴨小 9/18, 19, 20
		3 ・相談体制の充実、いじめや問題行動の未然防止、(倉吉市いじめ防止基本方針の徹底、不登校対策)	学校教育	・生徒指導主任・主事研修会 ・心の教室相談員、子どもと親の相談員配置 ・SSWRによる支援活動(年間) ・重点校における定例会の開催(年間) ・生徒指導支援会議(年間)	各校個別の指導計画、登校サポートシート作成・活用(年間) 生徒指導についての学校計画訪問(前期) 要保護児童対策協議会(随時) 子ども支援センター児童生徒受け入れ開始 不登校児童生徒への家庭訪問の実施 不登校対策(担当との連絡及び助言各月末に)年間	不登校児童生徒へのアウトリーチ型支援(年間)			

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
	鴨川中校区同研(鴨川中、関金小)			2/20 第3回人権主任者会(部落差別の実態に学ぶ、各学校実践報告)	改善に向けての検討	河北小の取組を人権主任者会で報告してもらい、各校への還元を図った。 教科としての特性を活かしながら、身につけさせたい資質・能力をまんべんなく年間計画に取り入れることを確認した。	B	<p>*成果指標</p> <p>A:年間指導計画を見直すとともに、身に付けるべき資質・能力を明確にした教育活動を教育課程全体を通して確実に実行している。</p> <p>B:年間指導計画を見直すとともに、身に付けるべき資質・能力を明確にした教育活動を行っている。</p> <p>C:年間指導計画を見直しが十分に行われていない。</p> <p>○小中学生と乳幼児とのふれあい事業は、各校の取組として定着し、児童生徒の自己有用感の向上に成果を上げている。</p> <p>○中学校「特別の教科道徳」については、特に混乱もなく学校現場に導入することができた。</p> <p>*成果指標</p> <p>A:円滑に実施できた 5校/5校</p> <p>B:円滑に実施できた 3校/5校</p> <p>C:円滑に実施できた 2校以下</p>
乳幼児ふれあい会 上灘小 10/10, 11 灘手小10/29 成徳小10/9 関金小10/31 北谷小10/31 社小10/30	乳幼児ふれあい会 社小11/7 上北条11/11 明倫小11/19			乳幼児ふれあい会評価		・小学校13校が年間2回の乳幼児とのふれあい会を児童センター等と連携して実施した。中学校5校は、家庭科の学習の中で保育体験を実施した。乳幼児の成長に驚きと喜びを感じ、自分も大切に守り育てられてきたことを実感することができた。	A	<p>○不登校について、各校とも未然防止や早期対応に努めている。ICT活用自宅学習支援、アウトリーチ型支援など新たな取り組みも実施しているが、出現率は増加傾向である。少数ではあるが、学校復帰した児童生徒もいる。</p> <p>*成果指標</p> <p>A:児童生徒数10%減</p> <p>B:児童生徒数5%減</p> <p>C:5%より低い減少</p> <p>○いじめの認知度は各学校とも高くなり、すばやい対応を行うようになってきたが、問題の解決まで継続した指導をしていくことがさらに求められる。</p>
生徒指導についての学校計画訪問(後期)				第2回青少年問題対策協議会	・中部子ども支援センター終了式	・スクールソーシャルワーカーが、各校の定例生徒指導委員会に出席するなどし、学校との連携を高め、不登校の未然予防や早期対応を進めた。また、児童生徒を取り巻く環境をよく理解し、家庭訪問などはたらきかけを継続することで難しいケースが上向くことがあった。	C	<p>*成果指標</p> <p>A:児童生徒数10%減</p> <p>B:児童生徒数5%減</p> <p>C:5%より低い減少</p> <p>○いじめの認知度は各学校とも高くなり、すばやい対応を行うようになってきたが、問題の解決まで継続した指導をしていくことがさらに求められる。</p>
第1回青少年問題対策協議会(10/24)				教育心理相談士による研修④	卒業生に係る中学校訪問(ハートフルスペース職員同行)	・長期欠席児童生徒数小学校35名(前年度比+7)、中学校79名(前年度比+19)12月末 ・子ども支援センター入級児童生徒13名 ・未然防止ができるよう、引き続き学校や関係機関と連携していきたい。		

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	3	豊かな心とたくましい体の育成	4	・たくましい体の育成（体育、健康教育、学校保健の充実、安全教育の充実）	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で学ぶ食の教室希望調査（小学校13校年間を通じて随時） 児童体育祭 運動会（小学校12校） 新体力テスト 通学路の危険箇所の抽出 一昨年度の安全対策についてアンケートの実施 性教育講座（中学校5校年間を通じて随時） 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回学校保健委員会 県中学校総体予選 倉吉市通学路の安全確保に係わる担当者会の開催 喫煙防止教育（小中学校18校年間を通じて随時） 	<ul style="list-style-type: none"> 県中学校総体水泳大会 小学校中部水泳 鳥取県中学校総合体育大会結果報告及び全国大会・中国大会出場激励会 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県小学校水泳大会 8/26 通学路の危険箇所合同点検 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校中部陸上 中学校中部駅伝 運動会（小学校1校、中学校5校）
	4	倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	1	・倉吉独自の教材づくりの推進（くらし風土記の活用）	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> 小学生副読本「わたしたちの倉吉」活用と見直し 「くらし風土記～倉吉学入門～」の新生活入門への配布・活用（土曜授業等） 倉吉検定の実施（随時） 				

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
中学校中部新 人大会 倉吉市通学路 の安全確保に 係わる連絡協 議会の開催				第2回学校保 健委員会		B	B	○体力運動能力調査で は、全体としてはB評 価であるが、学年、男 女別では課題がある。 *成果指標 A～C判定が80% に達する学年(男女 別)の割合 A:全小中学校の 12/18以上 B:全小中学校の7 ～11/18 C:全小中学校の 6/18以下
			倉吉学検定の 実施(中学校 5校)			B	B	○倉吉に誇りと愛着を もつ子どもの育成のた めに、土曜授業等にお いて中学校版「くらよ し風土記」、小学校版 「わたしたちの倉吉」 の活用を行った。
					すべての中学校で倉 吉検定を実施でき た。			

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
河北小 天神川河川敷(10/7/11) 1年59名 河北小 打吹公園(10/28) 1年59名 明倫小 天野種苗・山陰民具(10/24) 2年10名 明倫小 学仙寺(10/24) 2年10名 明倫小 人権文化センター・皆成学園・つばき(10/18) 6年9名 明倫小 ヒシクラ(10/31) 3年24名 明倫小 ほうきリサイクルセンター(10/16) 4年20名 明倫小 希望の家(10/3) 5年25名 明倫小・小鴨小 つばき(10/10・4) 5年25名 4年62名 上灘小 スイートランドTAKARA(10/31) 3年58名 上灘小 昭和町公園・倉吉未来中心(10/23) 1年40名 小鴨小 小鴨川堤防(19/3) 6年78名 東中学校 ディスカバー倉吉(10/1) 1年74名	西郷小 マグノリア(11/20) 4年37名 河北小 東宝河北プラザ(11/6/8) 3年63名 河北小 ル・サントレオン(11/26) 5年33名 明倫小 学仙寺(11/18) 2年5名 明倫小 ヒシクラ(11/14) 2年10名 明倫小 老人クラブとのグラウンドゴルフ(11/7) 4年20名 明倫小 明治製作所(11/19) 5年25名 小鴨小 倉吉養護学校(11/19/21) 4年62名 小鴨小 天神野台地(11/27) 4年62名 上小鴨小 Kセンター(11/8) 4年11名	明倫小 倉吉博物館(12/5) 3年5名 河北小 マグノリア(12/2) 5年33名 関金小 スイートランドTAKARA(12/2) 3年20名	西郷小 鳥飼家住宅(1/30) 3年39名 小鴨小・社小 西倉吉消防署(1/27・21) 3年64名 4年7名	灘手小 西倉吉消防署(2/26) 3年6名 関金小 明治製作所(2/6) 5年24名	・各小中学校がそれぞれの教育課程にあわせて、市内にある多くの施設等を見学し、施設の役割や働く人たちの思いを学んでいる。体験学習も取り入れられており、児童生徒がふるさと倉吉への思いを深め、関心を高める一助となっている。	A	B	○各小中学校がそれぞれの教育課程にあわせて、市内にある多くの施設等を見学し、施設の役割や働く人たちの思いを学んだ。

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	4 倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	3 ・土曜授業の実施 (ふるさと学習を中心とした地域との共催)	学校教育			①土曜授業 (6/29) 西郷小 ありがとう集会、 河北小 児童引き渡し訓練、明倫小 いきいき発表会、小鴨小 太一車、上小鴨小 水泳交流会、北谷小 生き物探検、高城小 防災学習、社小 ウォークラリー、灘手小 阿部川探検、上北条小 防災学習、関金小 水泳交流会、西中 性教育	①土曜授業 (7/6, 13) 成徳小 みつぼし踊り、上灘小 山上億良、東中 風土記 久米中 情報モラル 河北中 ものづくり体験 鴨川中 ふるさと発見 ウォークラリー		②土曜授業 (9/28) 河北小・山上億良の学習、明倫小 めいりん ウォークラリー、成徳 植物調査、上灘小 土灘じまん、小鴨小 小鴨に伝わる昔話・中井 太一郎と太一車、北谷小・灘手小 クリーン活動、上北条小 天神川の歴史・水質、社小 五輪祭り・灯籠作り、灘手小 安倍川探検・すみ よい灘手にするために、関金小 せきがね親子ウォーク、高城小 牛追い掛け 節、東中 ディスカバー倉吉、河北中 福祉体験・職場体験、鴨川中 関金の歴史・地理・自然、東中 倉吉の歴史・文化を知る
		4 ・倉吉らしさを取り入れた教育活動の実施	学校教育	地域と連携した菜の花プロジェクトの実施(年間)	倉吉市小・中学生淀屋サミットの開催(5月11日)			菜の花の種子散布 成徳小(8/28)	菜の花の種子散布 西郷小(9/17) 上小鴨小(〃) 上灘小(9/18) 上北条小(9/19) 灘手小(9/25) 小鴨小(9/26) 関金小(9/27) 河北小(9/28) 社小(〃) 東中(〃) 河北中(〃) 明倫小(9/30) 共同区域散布(9/14) 小学生9名 中学生19名

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価	
10月	11月	12月	1月	2月					3月
	③土曜授業 (11/2, 9, 11/16) 西郷小 ありがとう集会、成徳小 親子料理教室・自然体験、上灘小 町探検・盲導犬・手話、小鴨小 災害に備えよう、上小鴨小・関金小・社小・明倫小 校内マラソン大会、北谷小 ふれあいどろんこ祭、高城小 ふれあい参観日・地域とふれあい活動、灘手小 灘手駅伝大会、東中・久米中・河北中 進路学習、東中・久米中・鴨中 性教育		④土曜授業 (1/18) 西郷小 開筵式、河北小 倉吉の昔話・地域の仕事・戦争体験・薬物乱用防止、明倫小 昔の遊び、成徳小 椎茸の植菌、上灘小 人形劇倉吉の昔話・もちつき交流会・防災学習、小鴨小 ボテ茶体験・子供会発表会、上小鴨小 昔の遊び・性教育・メディア、北谷小 こも豆腐づくり・しいたけ植菌・昔の遊び、灘手小 灘手いいところカルタ、上北条小 書き初め、関金小 昔遊び・年賀状抽選会・能力アップチャレンジ、東中 進路学習・琴櫻、西中 校区の歴史を学ぶ、久米中 手話講座、愛校活動 人権学習、河北中 進路学習・性教育、鴨川中 進路学習	成果と課題の把握			A	○令和元年度、土曜授業の実施4回。倉吉市立小中学校で実施。 * 成果指標 ・「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた児童生徒の割合 * 成果指標 A：80%以上 B：60%以上80%未満 C：60%未満 地域と連携した取組を多く行っているが、取組を通してより地域や社会に何ができるか考えさせることが必要である。	
高城小(10/2) 久米中(10/7) 鴨川中(10/10) 西中(10/21)				菜の花プロジェクト報告会(2/17) 小学生34名 中学生15名 地域学校委員25名参加		今年度で11年目となり、学校が主体となって地域を交えた取組が定着してきた。今年度は、中学校区での共通実践に取り組むとともに、地域学校委員と児童生徒が協議する場面を設け、地域とのつながりを発展させるようにした。		B	

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
5	家庭・地域と連携した開かれた学校づくり	1 ・開かれた学校づくりの推進（学校評価の効果的な活用）	学校教育	学校ウェブページの更新 前年度の学校評価結果にもとづく学校経営の重点化		学校一斉公開 (6/13、14)		地域学校委員会による関係者評価	
		2 学校地域連携の取り組み推進（地域未来塾）	学校教育				倉吉地域未来塾開始（はばたき教室、上井公民館教室） 教育を考える会 上灘地区（7/5）	地区運動会の運営補助	教育を考える会 北谷地区（9/10） 各地区運動会の運営補助
		3 ・学校運営に参画する体制づくり（地域学校委員会の充実）	学校教育	各校地域学校委員会 地域学校委員任命 ボランティア募集開始 学校支援ボランティア活動（年間）		第1回倉吉市地域学校推進協議会		各校地域学校委員会（一学期のまとめ）	
6	よりよい倉吉教育を目指して	1 ・特別支援教育の充実（児童生徒を支える学校体制づくり）	学校教育	特別支援教育主任研修会 就学前発達教育相談（5才児対象） 前期1年生訪問＋前期特別支援学級訪問 自立活動研修会（小5/30・中6/17） MIM支援（小1随時）			感覚統合基本研修（不器用さの理解と支援）（6/24）小1担任・年長担任対象		市就学指導委員会（9/20）
		2 家庭教育の充実（研修機会の拡大）	学校教育						
		3 ・教育助成の充実（就学援助事業の周知と適切な執行）	教育総務	就学援助の委任状・口座等とりまとめ 修学旅行費支払い	学用品費等支払い	特別支援教育就学奨励費希望取りまとめ 特別支援教育就学奨励費支給決定		特別支援教育就学奨励費支払い	学用品費等支払い

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
各校で学校公開や行事への参加呼びかけ		保護者・教職員・児童生徒アンケートをもとにした学校自己評価(中間)と関係者評価			次年度に向けた改善策の検討と関係者評価及び公開	A	B	<p>○学校公開を市内小中学校で6月に実施した。2学期については、各校が独自に実施した。</p> <p>*成果指標： 児童生徒の活動の様子をウェブページで公表 A：全小中学校 B：12校/18校以上の 小中学校が公表 C：11校以下</p> <p>○学校地域連携の取組は、各地域の実情を踏まえ充実した取組がなされるようになった。一方で、地域からの支援だけでなく地域への貢献といった学校の地域参画も必要である。</p> <p>*成果指標 A：各地区行事の参加率 80%以上 B：各地区行事の参加率 60%以上 C：各地区行事の参加率 60%より低い</p>
	各地区文化祭に出演・出品					B		
教育を考える会 上北条地区(10/19) 上井地区(10/5) 小鴨地区(10/11)	教育を考える会 明倫地区(11/22) 高城地区(11/26) 西郷地区(11/29) 成徳地区(11/22) 上小鴨地区(11/22) 社地区(11/26)	教育を考える会 関金地区(12/5) 灘手地区(12/6)			・13地区で「教育を考える会」を実施。各地区において子どもの成長を考えた内容のものが実施され、熱心に協議等が行われた。参加者の固定化が課題である。	B	B	<p>○学校地域連携の取組は、各地域の実情を踏まえ充実した取組がなされるようになった。一方で、地域からの支援だけでなく地域への貢献といった学校の地域参画も必要である。</p> <p>*成果指標 A：各地区行事の参加率 80%以上 B：各地区行事の参加率 60%以上 C：各地区行事の参加率 60%より低い</p>
		各校地域学校委員会(二学期のまとめ)		第2回倉吉市地域学校推進協議会(2/17)(菜の花プロジェクト報告会との共催・研修会・倉吉市の実施状況のまとめ)	各校地域学校委員会(三学期のまとめ)	A		
市就学指導委員会(10/28)	市就学指導委員会(11/28)			倉吉市子どもの発達支援研修会(2/9)	1年間を終えての指導に関するアンケート	B	B	<p>○自立活動の研修会を実施、また、子ども家庭課との共催で感覚統合基本研修を行い、現場の特別支援学級担任、小学校1年生担任のニーズに合った研修を実施することができた。</p> <p>○本年度より各校での取組としたMIM(言語多層指導モデル)は、各小学校で必要に応じた取組が行われた。</p> <p>*成果指標 A：MIM教材の活用とデータ利用 全小学校 B：MIM教材の活用とデータ利用 7校以上 C：MIM教材の活用とデータ利用 6校以下</p>
						B		
教育講演会の実施(10/10)アンガーマネジメント	PTA連合会との意見交換(小11/22, 中11/8)					B	B	<p>○核家族化、少子化、地域における地縁的なつながりの希薄化など、家庭や家族を取り巻く社会状況の変化の中で、家庭の教育力の低下が課題として残る。</p> <p>○適切に交付事務を執行することができた。</p>
						B		
			学用品費等支払い 特別支援教育就学奨励費支払い	新入学学用品費支払い(早期支給分)		B		

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	7 学校給食の充実、食育の推進	1 栄養教諭等による食に関する指導	給食センター	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画作成及び指導案提示 ・全学級訪問指導（教科等での指導） ・給食時間を使った食に関する指導 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時間を使った食に関する指導 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時間を使った食に関する指導 6回 ・教科・学活等を使った食に関する指導 4回 ・親子で学ぶ食の教室 10回 学校保健委員会 3回 給食試食会 3回 次世代育成食育連絡会 (6/28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時間を使った食に関する指導 14回 ・教科・学活等を使った食に関する指導 7回 ・親子で学ぶ食の教室 5回 学校保健委員会 13回 農業委員会調理場説明 (7/10) 給食食材供給部会地産地消打合会 (7/26) 		<ul style="list-style-type: none"> ・給食時間を使った食に関する指導 5回 ・教科・学活等を使った食に関する指導 14回 ・親子で学ぶ食の教室 2回 	
		2 学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底	給食センター	(通年) 「定期及び日常衛生検査」による点検と改善						
		3 食物アレルギー対応の推進	給食センター	(通年) <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー対応食の提供 ・食物アレルギー対応の検討 					<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー対応研修会 (8/8開催、参加者21名) 	

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
<ul style="list-style-type: none"> 給食時間を使った食に関する指導 8回 教科・学活等を使った食に関する指導 19回 親子で学ぶ食の教室 1回 給食試食会 1回 次世代育成食育連絡会 (10/29) 	<ul style="list-style-type: none"> 給食時間を使った食に関する指導 14回 教科・学活等を使った食に関する指導 40回 学校保健委員会 1回 給食試食会 1回 ひまわり保育園体験給食 (11/1) 鳥取短期大学施設見学 (11/8) 学校給食食材供給部会収穫体験 (11/15) 聖レジアこども園体験給食 (11/22) 	<ul style="list-style-type: none"> 給食時間を使った食に関する指導 16回 教科・学活等を使った食に関する指導 5回 	<ul style="list-style-type: none"> 給食時間を使った食に関する指導 14回 教科・学活等を使った食に関する指導 8回 学校保健委員会 1回 市長を囲んでの会食会・表彰式 (1/27 高城小) 教育委員を囲んでの会食会・表彰式 (1/24 小鴨小ほか) 献立作品の展示 (1/24~1/30 倉吉交流プラザ) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科・学活等を使った食に関する指導 9回 学校保健委員会 12回 倉吉幼稚園園体験給食 (2/19) 	<p>給食主任や学級担任等と連携しながら、望ましい食習慣の定着につながるよう、栄養教諭・学校栄養職員による全学級訪問指導を計画どおり186回実施した。</p> <p>「親子で学ぶ食の教室」については、計画どおり給食センターで18回実施した。</p>	A	A	<p>○小中学校9年間を通じて計画的な指導を行うことにより、児童・生徒の「食に対する理解と関心」を深めることができた。</p> <p>○調理業務の衛生管理等を徹底することで、安全・安心な給食の提供につなげることができた。</p> <p>○児童・生徒全員を対象とした食物アレルギー用献立表や、給食センターで食物アレルギー対応をしている児童・生徒の個別献立表で情報提供を行い、学校教育課・学校現場・保護者と連携しながら食物アレルギー事故の防止を図ることができた。</p>
					<p>学校給食衛生管理基準に基づく、調理業務の衛生管理等について、工程表等を確認しながら委託先の責任者と協議し随時指導を行った。</p>	B		
					<p>給食センターが食物アレルギー対応している児童・生徒の保護者、教職員等を対象とした研修会を開催し、関係者が共通認識を持って対応にあたることを確認した。</p>	A		

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	8 地域力を育む社会教育の推進 ～現代的及びライフステージに応じた学習機会の充実～	1 成人式（成人式実行委員会、中学生ボランティアによる運営）	生涯学習	・成人式実行委員会募集				・成人式実行委員会8/20.21（役員、テーマ決定）	・成人式実行委員会9/18（企画準備）
		2 各種講座開設 専門・実践的な高等教育を受ける機会確保（鳥取看護大学・短期大学・倉吉市連携講座、生涯学習講座、鳥取大学連携講座、人材銀行、女性連絡会）	生涯学習	・夏休み講座検討会、社会教育事業検討会（4/26） ・人材銀行てびきの発刊 ・利用PR（市PTA連・自治連） ・女性連絡会西・鴨中校区活動（4/2・23人）	・看護・短大（第1回）6/25・76人		・看護・短大（第2回）7/5・53人 ・看護・短大（第3回）7/19・90人	・看護・短大（第4回）8/2・74人 ・看護・短大（第5回）8/23・66人 ・県連携講座（7/27）116人	・生涯学習講座（第1回）9/8・70人（第2回）9/21・64人 ・社会教育事業検討会（9/6） ・女性連絡会東中校区活動（9/2・49人）

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
・成人式実行委員会10/27 (企画準備)	・成人式実行委員会11/10・11/24 (企画準備)	・成人式実行委員会12/15 (事前リハーサル) 12/25 (会場下見・打ち合わせ)	・成人式(1/3) ・実行委員会OBボランティア	・成人式実行委員会2/29 (反省会)		<p>・昨年に引き続き妨害行為への対策を講じ、何事もなく式を終えることができた。</p> <p>・実行委員が主体となって成人式実行委員会企画の準備・運営に取り組み、成人式を成功させた。</p> <p>・実行委員会に身近な存在であるOB・OGに参加してもらい、経験談や助言を受けて、より充実した企画内容の検討や円滑な準備に繋がった。また当日も舞台袖で声をかけてもらい、緊張がほぐれ、落ち着いて企画進行をすることができた。</p> <p>・多くの中高生にボランティアとして参加してもらった。 実行委員 15人 実行委員OB(OG) 3人 中学生 31人 高校生 16人</p>	B	B	○昨年に引き続き成人式の警備体制の充実を図り、無事に成人式を終えることができた。この実績を踏まえ、今後の警備体制について検討していく。実行委員としての経験が後輩の支援に繋がるよう、また社会人になってからも助け合える仲間作りに繋がるよう、成人式を核にした若者の新たな世代を繋ぐ機会となるよう引き続き事業を展開していきたい。
<p>・生涯学習講座 (第3回) 10/12・40人 (第4回) 10/27・40人 (市外研修) 10/17・17人</p> <p>・県連携講座 (10/6・105人)</p> <p>・女性連絡会久米中校区活動 (10/25・13人)</p>	<p>・生涯学習講座 (第5回) 11/9・42人</p> <p>・女性連絡会研修交流会 (11/11・27人)</p> <p>・女性連絡会河北中校区活動 (11/25・28人)</p>				<p>・社会教育事業検討会 (3/4)</p> <p>【看大・鳥短公開講座】「現代社会を生きる知恵」をテーマに、地域に根ざした文化や生活等に焦点を当てた講座を実施。例年に比べ参加者が伸び悩んだ。</p> <p>【生涯学習講座】「ことばの魅力に迫る」と題し、全5回講座・市外研修を実施。図書館と連携して展示を行い新規受講者獲得に繋がった。県と連携して講座を実施。高校生の参加もあり様々な年代、地域の方との交流の機会となった。</p> <p>【人材銀行】新規登録者のHP掲載や子ども会総会等でPRを行い活用が拡大した。</p> <p>【女性教育】各中学校区での活動及び全市における研修を行い、学びを通じた参加者の交流も図ることができた。</p>	A		<p>○各種講座は、昨年度に引き続き地域課題を意識しながら実施した。県連携講座では100名を超える参加があり、様々な年代、地域の方との交流の機会を作ることができた。</p> <p>○看大・鳥短公開講座では、地域の課題と大学の専門性の均衡を図った学習機会の提供を行い、参加者の学びが深まった。例年に比べ参加者が少なく、より多くの方に参加してもらえる工夫を検討していくことが必要。</p> <p>○社会教育関係課連絡会により、事業の共有及び連携を図ることで、事業内容の充実と効率化に繋げることができた。</p> <p>○女性が企画や運営に関わることで主体的な学びとなった。また参加者同士の情報交換などで課題を共有し、さらに学びを深めることができた。</p>	

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	9 支えあう人づくり・輝くまちづくり～絆づくりや地域のコミュニティ形成に向けた学習活動の推進～	1 青少年の健全育成と青少年団体の育成支援（子ども会・ものづくり道場・伝統文化体験教室）	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり指導者派遣、手づくり教室の実施(年間) 中部社会教育担当者会（第1回 4/10） 	<ul style="list-style-type: none"> 市子ども会連絡協議会総会（5/9） ものづくり指導者養成講座（5/11） 中部社会教育担当者会（第2回 5/15） 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり指導者養成講座（6/8） 中部地区少少女のつどい（6/23） 中部社会教育担当者会（第3回 6/18） 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり指導者養成講座（7/13） 夏休み子ども体験教室（7/29・22人、7/31・15人） 中部社会教育担当者会（第4回 7/17） 	<ul style="list-style-type: none"> マイクロネシア諸島自然体験交流事業推薦派遣（7/29-8/8・1人） 夏休み子ども体験教室（8/1・29人） 中部社会教育担当者会（第5回 8/28） 	
		2 放課後子ども教室推進事業（総合プラン連携型、子どもいきいきプラン、通学合宿）	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> 関金放課後子ども教室（児童館連携型）開級 放課後子ども教室（1地区） 各地区子どもいきいきプラン実施 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室運営委員会（5/14） 				
		3 倉吉地区少年補導センター事業への参画、青少年育成協会との連携	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> 街頭補導（毎月） 高校生マナーアップさわやか運動（4/16～19） 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回評議委員会（5/28） 第1回運営委員会（5/10） 	<ul style="list-style-type: none"> 補導センター情報交換会（6/25） 第1回倉吉市青少年育成協議会（6/27） 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回運営委員会（7/4）（・青少年育成者研修会7/11） 	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭の日」絵画作品募集（8/26～9/10） 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回運営委員会（9/26） 高校生マナーアップさわやか運動（9/10～13） 「家庭の日」絵画作品審査会（9/12）

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
<p>・中部社会教育担当者会（第6回 10/15）</p>	<p>・市子ども会リーダー研修会（11/3・10人）</p> <p>・中部社会教育担当者会（第7回 12/2）</p>	<p>・県子ども会ジュニア・リーダー研修会（12/14～15・3人）</p> <p>・中部ハイスクールフォーラム（12/22・163人）</p>		<p>・中部社会教育担当者会（第8回 2/28）</p>	<p>【子ども会】倉吉市子連が実施する研修会を実施し、県子連等が実施する研修会に派遣を行い、学びの機会を設けた。3月の研修会が中止となった。子ども会やレクについて学ぶ場となっていたため、次年度早めの研修の実施を検討する必要がある。</p> <p>【中部地区社会教育担当者会】中部地区の市町共同で少年少女のつどいを実施。今年度初めてハイスクールフォーラムも共催で実施した。</p> <p>【ハイスクールフォーラム】今年度は中部市町共催で実施。中部に取組みを広げた。各高校の特色ある活動や取組みの発表と掲示、及び地域住民や中学生との意見交換を行った。</p>	B		<p>○「子ども主体による子ども会運営」とする子ども会のあり方等を研修会で取り上げ、子ども会の活動支援に繋がる事業が実施できた。中学生の加入率の低下を受け、秋の研修で進学後も子ども会活動に関わることを内容に盛り込んだ。</p> <p>○異なる地域や学校の青少年が、ともに自然の中で体験活動を行うことで、仲間作りや自然の大切さを学んだ。</p> <p>○地域住民や中学生に、高校生の活動や取組み、社会や地域に対する高校生の考えを知ってもらい、今後の高校生と地域との連携につながる取組みを中部に広げることができた。</p>
	<p>・放課後子ども教室運営委員会（11/12）</p>				<p>運営委員会を2回実施。事業内容と進捗を確認した。各地区における放課後子ども教室については、市内で14教室、年間を通して実施した。</p>	B		<p>○放課後子ども教室を通して、子どもの居場所づくりと、子どもと地域住民との交流を促すことができた。運営委員会では、各地区の取り組みについて情報共有を行った。</p>
	<p>・第4回運営委員会（11/28）</p>	<p>・「家庭の日」絵画作品巡回展（12/13～12/22）</p>	<p>・第5回運営委員会（1/23）</p>	<p>・第2回評議委員会（2/14）</p>	<p>・第6回運営委員会（3/26）</p>	B		<p>○補導対象事業や街頭補導を実施した。非行や犯罪被害の低年齢化が進む中、様々なキャンペーン活動等を通して啓発を行った。</p>

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画							
				4月	5月	6月	7月	8月	9月		
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	10	公民館活動の推進 ～学習の質向上と学習成果の活用～	1	学習の質向上と学習成果の活用（公民館と地域振興の連携）	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館職員研修会(4/12) ・公民館職員初任者研修会(4/17) ・第1回市公連理事会(4/19) 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館長会(5/14) ・公民館主事研修会(5/16) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館主事研修会(6/20) ・第2回市公連理事会(6/14) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館長会(現地研修7/9) ・公民館主事研修会(7/18) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館長会(社会教育委員との語る会8/6) ・公民館主事研修会(8/22) ・第3回市公連理事会(8/7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中四国地区公民館研究集会(9/5.6) ・公民館長会(9/13) ・公民館主事研修会(9/19) ・中部地区社会教育関係者研修会(9/26)
			2	人づくり・地域づくりの推進（公民館研究指定事業）	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館研究指定事業の委託、運営支援 ・情報発信（館報・HP紹介、マスコミ情報提供） ・灘手「成人講座」 ・小鴨「地域づくり講座」 	<ul style="list-style-type: none"> ・上北条「地域課題研究」 ・上井「健康づくり講座」 ・成徳「高齢者学級」 ・社「地域づくり講座」 ・高城「地域づくり講座」 ・関金「地域づくり講座」 	<ul style="list-style-type: none"> ・明倫「成人学級」 ・上小鴨「地域づくり講座」 	<ul style="list-style-type: none"> ・西郷「青少年学級」 ・上灘「地域づくり講座」 ・関金：夏休みまなび教室(7/29～8/1・高校生延べ6名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・北谷「地域課題研究」 ・中学生ボランティア(地区夏祭り運営) ・上灘：夏休みお助け隊(8/5～9・高校生延べ12名) ・小鴨：夏休みお助け隊(8/5～6・高校生延べ17名)、防災キャンプ(8/9～10・中高生7名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生ボランティア(地区運動会運営)

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館長会 (10/8) ・第4回市公連理事会 (10/2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館長会 (11/12) ・公民館主事研修会 (11/21) ・公民館管理委員長会 (11/11) 		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館長会 (1/7) ・公民館主事研修会 (1/16) ・社会教育主事講習 (1/20～2/27) ・第5回市公連理事会 (1/15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館長会 (2/4) ・公民館主事研修会 (2/20) ・第6回市公連理事会 (2/26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館長会 (3/11) ・公民館主事研修会 (3/12) ・公民館管理委員長会 (3/26) ・第7回市公連理事会 (3/27) 	<p>館長研修会や主事研修会を年間計画に基づき実施した。公民館職員としての質の向上を図った。主事研修会の中で、研究部会を3回実施し、各部会でテーマを設定し、主体的に課題解決につながるよう取り組んだ。各部会での研究成果を全体で共有した。公民館主事2名が社会教育主事講習を受講した。市公連・館長会と連携し、主に公民館事業の充実・課題解決等について検討・議論した。</p>	B		<p>○研修会の中で公民館職員で課題を共有して話し合ったり、お互いに情報交換をすることにより、公民館同士の連携が生まれたり、全体として公民館の課題解決や事業の充実につながった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館計画訪問 (10/8～10/31) ・上灘：県社会教育振興大会実践発表 (10/1) 		<ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市公民館活動展 (12/6～7・来場者数913人) ・公民館研究大会 (12/13・93人) 				<p>【公民館研究指定事業】全地区公民館において、地域課題解決につながることを目的にそれぞれ青少年学級、地域づくり講座、健康づくり講座等テーマを設定して学習機会の提供を行う講座を実施した。住民が企画や運営に関わる仕掛けをし、地域で主体的に取り組んだ。優良公民館表彰において上灘公民館が、昨年度の上北条公民館に続き全国で5館の優秀館に選ばれた。研究指定事業で実施した地域づくり講座「うわなだ未来塾」における子どもを核として地域と学校が連携して取り組み、地域活性化にもつながったことが高く評価された。</p>	A		<p>○公民館優良表彰などで本市の地区公民館が全国で高い評価を受けているのは、研究指定事業において、住民が企画や運営に関わり、3年間をかけて地域課題解決に向けた事業を展開できていることが大きな要因である。</p> <p>○公民館報のHP掲載を続け、公民館情報を広く発信している。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生ボランティア (地区文化祭運営) ・上北条：エコツリー制作 (11/9・高校生2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小鴨：かがく実験教室 (12/7高専生2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生ボランティア (成人式) 中学生31名・高校生16名 				A		

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	10 公民館活動の推進 ～学習の質向上と学習成果の活用～	3 公民館のあり方検討	生涯学習	H32年度以降の公民館運営について決定する。					
		4 安全安心な施設整備空調整備（成徳、明倫、北谷）	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕随時 ・成徳公民館事務室空調機取替 ・明倫公民館大会議室空調機取替 ・北谷公民館大会議室空調機取替 			<ul style="list-style-type: none"> ・北谷公民館会議室空調機取替（7/5完了） ・成徳公民館事務室空調機取替（7/31完了） ・パソコンOS更新及び新規購入 ・小鴨公民館改修（8/5完了） ・上灘公民館土間防滑修繕業務（7/31完了） 	<ul style="list-style-type: none"> 主事会現状説明（8/22） 庁内関係課による協議（8/27） ・明倫公民館大会議室空調機取替（8/21完了） 	館長会現状説明（9/13）

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
庁内関係課による協議 (10/2, 10/18) 社会教育委員協議会へ方針案説明(10/29)	公民館管理委員長会へ方針案説明(11/11) 公民館長会へ方針案説明(11/12) 公民館主事会へ方針案説明(11/18)				協定書締結	行財政改革のうち、施設のあり方に係る検討について、関係部署が集い数回にわたって協議を進め、「地域のあり方に関する方針j(案)」を策定した。関係者へ説明し、意見を求めた。	B		○地区公民館が現在担っている機能の所管課が集い検討し、「地域のあり方に関する方針(案)」を策定した。そして館長会、主事会等へ説明をし意見を伺った。
			・上小鴨公民館消火栓ポンプ主弁取替(1/23完了)	・明倫公民館資材倉庫屋根修繕(2/13完了) ・高城公民館相談室空調取替(2/25完了)		大規模な修繕はなかったが、利用者の安心で安全な利用を促進するため、老朽化等の課題に対しアイデアを出し工夫しながら対応した。	B	A	○安全で安心な公民館施設の維持管理に努めた。早急に対応が必要な課題について専門部局と確認・協議を実施し、公民館と連携しつつ業務を遂行した。

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画								
				4月	5月	6月	7月	8月	9月			
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11	体育・スポーツの振興	1	スポーツ推進に関する重要事項の調査審議	生涯学習							
						桜相撲大会 (4/21)			市民体育大会 (水泳競技 7/15)			
									スポーツライミング日本代表・フランス代表合宿	→		
		2	スポーツ活動機会の充実(地域スポーツの振興)	生涯学習	スポーツ教室 (スポーツ推進委員・地区公民館)	大人のコーナー教室(5月～9)					【上鴨】 ファミリーバドミントン(3回29人) 【関金】 ファミリーバドミントン(3回21人)	
					海洋センター コーナー教室 (体育施設指定管理者ミズノ共催) 小中学生4月～R2/3月							
					指定管理者による各種教室			温水プール夏休みジュニア短期教室				

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価	
10月	11月	12月	1月	2月					3月
					第1回審議会	2回の開催を予定していたが、1回の開催となった。課題も多く山積している。来年度は年2回開催する。	C	C	○オリンピック・パラリンピック開催にともない多様化するニーズに応えるためにも年2回の開催が必要と考える。
市民体育大会 (倉吉マラソンほか 10/14、20、26、27) 女子駅伝 日本海駅伝競走大会 (開会式10/5 大会10/6) 古希野球中四国大会 (10/19～20)	米子・鳥取間 駅伝競走大会 (11/9～10)		ニュースポーツ交流会 (1/26)	倉吉市体育協会スポーツ表彰 日本海新聞ふるさと大賞 (2/23)		【各種大会等】 計画どおり実施できた。ただし、来年度はオリンピック開催に伴い事業計画等日程調整が必要となる。 【コンベンション】 フランス代表合宿に、県及び地域づくり支援課からの依頼を受け協力した。フランスからは高評価を得た。			○各種大会・イベント各主催・協力団体との連携・調整を図り、女子駅伝・日本海駅伝では初めて報道車両が競技中の選手への接近が許可されるなど、安全性を担保し効率的・効果的に事業実施することが可能となった。来年度以降はさらに安全性を高める努力とスポーツ情報を効果的に発信することを計画する。 スポーツコンベンションは、個々の事業を一過性のものとするのではなく、「スポーツ振興を通じて地域の活性化を図る」の視点をもって、ソフト事業の具体的企画・立案を関係団体と進めていくことが重要と考えている。 なお、令和2年度はコロナウイルスの影響を考慮した事業計画となる。
【上灘】 ファミリーバドミントン (3回200人)	【上北条】 ファミリーバドミントン (3回58人) 【西郷】 ファミリーバドミントン (2回20人) 【北谷】 ファミリーバドミントン (3回29人)	【成徳】 ファミリーバドミントン (3回25人) 加藤伸一野球教室(12/15) (野球振興協議会主催) スポーツ指導者研修会 (12/28)				【スポーツ教室】 各地域での教室は定着し各会場ともに参加人数は増加傾向。 【研修会】 講師の日程調整ができず、予定した5回のうち2回の開催となった。 【指定管理教室】 温水プールによる教室は、利用者の要望を取り入れ、新たな教室を開設した。教室運営を通じて健康づくりを図った。体育施設については従来の教室及び鉄棒教室等スポット事業を増設し子どものスポーツ参加のきっかけづくりを推進した。 【BG教室】 今年度も体育施設指定管理者と共催で実施した。	B	B	○教室・研修 教室事業は、定着も図られ安定した参加人数があるが、地域スポーツ教室以外は横ばいの状態であり、定例的な利用者となっている。このことから、視点を変えた事業に取り組む必要があると考えている。

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画							
				4月	5月	6月	7月	8月	9月		
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11	体育・スポーツの振興	2	スポーツ活動機会の充実(地域スポーツの振興)	生涯学習	児童生徒 全国大会 出場費補助金					申請26団体
					生涯学習	桜相撲補助金 (4/21開催)					
					生涯学習	学校開放					
					生涯学習	体育施設					
					生涯学習	市営温水プール 指定管理選 定委員会	募集要項の作 成	要項・募集方 法の決定	募集開始・現 説 (7/24～ 8/30) 現説:8/19 質問:8/9～ 8/22 募集締切:8/30		
					生涯学習	温水プール 海洋センター (4/6～9/30) 海洋センター 指定管理に向 けた方針協 議・決定					

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
						<p>【全国大会補助】 3月予定されていた大会がコロナウイルスの関係により中止されたが、前度実績23件に対し今年度は26件と3件上回った。</p> <p>【桜相撲補助】 大会は計画どおり実施できたが、県の監査があったことにより、決算が遅れ、実績報告の提出が遅れた。</p> <p>【日本海駅伝補助】 今年度132チームが出場。補助金執行も計画どおりできている。</p>	B		○補助金 全国大会の補助金ニーズは高く、例年20件以上の申請があるが、申請手続きが分かり難い等、制度上の問題もあるため、来年度以降、要項の改正等を検討する必要がある。
						<p>【学校開放】 本年度も30,000人を超える利用者があるが、団体における活動が広域化しており、利用実態と規則が合わなくなっている。また、破損等の事故も増加傾向にあり今年度から報告書提出を求め確認している。</p> <p>【温水プール指定管理者選定委員会】 2回の委員会を開催し指定管理候補者を選定。指定管理料が増額の提案となったが、候補者と協議・精査し約2,000千円の減となった。</p> <p>【海洋センター指定管理協議】 体育施設指定管理者ミズノと再協議し条件を整理し令和3年度の導入を目指している。</p>	B		○指定管理事業 最終目標である指定管理者による自主運営・自主採算を目指すため利用率の向上を図る事業が必要であり、体育施設及び温水プール共に次期5ヵ年での利用率向上を図る必要がある。
選定委員の決定 第1回選定委員会（10/25） 指定管理料 確認・精査	第2回選定委員会 プレゼン実施 候補者決定 答申提出	議案提出	告示 協定書作成	特別休館(1週間)	協定書締結				

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	3 スポーツ指導者の養成・団体の育成	生涯学習	第1回体育協会常任理事会(5/27) 体育協会理事会(5/29)			市民体育大会(水泳競技)(7/15) 市民体育大会総務委員会・実行委員会(7/25)	県民スポーツ選手派遣(水泳競技)(8/24~25)	中部駅伝選手派遣(9/8)
				スポーツ推進委員辞令交付・協議会総会(4/5)推進委員50名 第1回役員会(4/17) 県スポーツ推進委員協議会理事会・代議員会・編集委員会(4/27)	第2回役員会(5/31) 県スポーツ推進員研究大会運営委員会(5/18)	スポーツ推進委員第1回講習会(6/28) 中国スポーツ推進委員研修大会(6/22~23) SUN・IN未来ウォーク協力(6/1) スポーツ教室運営開始	郡市合同実技研修会(7/28) 第3回役員会(7/19) 県スポーツ推進委員リーダー研修会(7/13)	県スポーツ推進員研究大会運営委員会(8/9) 第4回役員会(8/28)	第1回実技研修会(9/17)
				市スポーツ少年団本部総会(4/25) 市スポーツ少年団交流大会(野球4/13、4/20 バレー4/28)	中部地区スポーツ少年団交流バスケ大会(5/11)	中部地区スポーツ少年団交流野球大会開会式(6/22)			中部地区スポーツ少年団交流野球大会決勝トーナメント(9/8) 中部地区スポーツ少年団交流バドミントン大会(9/22)

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
市民体育大会 (倉吉マラソン他競技) 開催 (10/14) 女子駅伝・日本海駅伝協力 (開会式10/5 大会10/6) 県民スポレク選手派遣 (秋季) (10/20～) きたろうカップ 駅伝選手派遣 (10/14)	米子～鳥取間 駅伝選手派遣 (11/9～10) スポーツ表彰 候補者推薦 (11/3)		スポーツ表彰 選考委員会 (1/16)	スポーツ表彰 式 (2/23)	監査会	体育協会事業については、概ね例年どおり実施できたが、スポーツ団体の情報発信は実施できなかった。 スポーツ表彰は昨年度実績を超える参加者数となり、競技スポーツ活性化の一助となっている。			○計画していた各種団体の実態調査、情報発信は進んでおらず、昨年どおりの事業実施となった。このため来年度も、事業の見直し、再編できるよう各事業の実態及びニーズ確認を図る。 まずは、本審議会終了後にスポーツ少年団を対象とした調査を実施し、子どものスポーツ活動の実態を把握。子ども達が安全・安心にスポーツに取り組める環境の創出と活動を支える指導者の確保及び資質向上を図る方向性を検討する。 また、調査に合わせてニーズを把握し、現在の協会活動内容と比較検討することで、事業の方向性、各団体への支援、指導者確保等スポーツ推進に繋がる各事業の整理統合、新設を行うことを計画する。
女子駅伝協力 日本海駅伝協賛 (10/6)	全国スポーツ推進委員研究大会 (11/14～15) 県スポーツ推進員研究大会運営委員会 (11/11) 県スポーツ推進委員研究大会 (11/30～12/1)	第2回実技研修会 (12/10)	ニュースポーツ交流会 (1/26) 東伯郡スポーツ推進研究大会 (1/18～19)	第2回講習会 (2/25) 県民のスポーツ編集委員会	決算監査 第3回役員会	講習・実技研修及びニュースポーツ交流会の企画運営について、スポーツ推進委員が主となって運営できるよう少しずつ見直してきた。若い委員が選出され、積極的に研修等に参加している。	B	B	○スポーツ推進委員の認知度を上げ、主体的に事業に取り組めるよう事業再編を進めた結果、ニュースポーツ交流会等は参加者が増加し地域スポーツの活性化に繋がっている。このため、来年度はさらに一歩踏み込んだ事業を検討し、スポーツ推進委員独自で活動できる体制の構築を図る。
	中部地区スポーツ少年団交流ハレボール大会 (11/10) 中部地区スポーツ少年団交流野球大会決勝トーナメント (11/3、11/23)	鳥取県スポーツ少年団リーダー研修会 (11/16～11/17)	市スポーツ少年団キッズハレボールリーグ交流大会 (1/19)		市及び中部地区スポーツ少年団監査 鳥取県スポーツ少年団リーダー研修会	各競技の交流大会は計画どおり実施できたが、少年団全体での交流大会は実施できなかった。各競技とも少年団以外の大会が多く、なかなか調整できないことが課題である。 来年度から指導者制度の改革もあり、今後の指導者確保・育成が課題となる。			

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	4 体育施設の整備充実	生涯学習	ラグビー場移設 競技団体協議		移設整備方針決定 実施設計準備 (JV又は建築・土木分離)	実施設計額決定 補正予算計上	議案提出	議会承認 入札準備
				スコアボード 実施設計 グラウンド整備 黒土搬入(ミズノ)					
				トイレ洋式化 (第2期:ミズノ) ※第1期はH30年度に実施					
				防火扉取替修繕					
				体育施設等修繕・器材整備 (通年)			スポーツセンター 体育館照明器具取替 (6/1~7/26)		

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
入札業者決定						競技団体との協議は、団体の協力もあり概ね計画どおり設計を完了し来年度施工する。また、財源についても、国の補正予算でラグビー場補助事業が追加・決定され当該事業が該当となり、事業費の1/3が国費が補助対象となる。	B	B	○各工事及び設計等業務については、計画どおり完了している。次年度も緊急性の高いものから順次実施する。
実施設計開始 土木（10/24～3/24） 建築（10/29～3/27）		3月補正予算計上	概算工事費決定	3月議案提出 国庫補助申請	実施設計完了 工事入札準備				
						スコアボードの電光掲示化によって長年の懸案だった改修が終了した。今後は利用者の利便性の向上に繋がることが期待される。なお、スコアボードの改修を機に高校野球大会の開催が決定している。			
工事入札・着工 (10/10～3/19)						利用者の利便性向上が図られ、利用促進に繋がった。			
			修繕入札・着工(1/23～3/31)			利用者が少ない冬季に修繕を実施し、利用者の安全確保に繋がった。			
						庭球場は、昭和48年に竣工し、昭和59年以降は改修していないため、運営面、安全面において支障をきたしていた。社会資本整備交付金を活用し、クレーコートを人工芝へ改修することにより利用促進に繋がることが期待される。なお、コートの整備内容については、競技団体と協議し設計に反映している。			
			庭球場測量設計業務入札・着工（1/7～3/31）	庭球場改修工事費決定・当初議案提出					

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	12 文化財の保存、活用、伝承	1 伝建地区の災害復旧・保護（修理・修景事業）	文化財			伝建審議会 6/28(第1回)		文化庁指導 伝建講演会 8/21	現状変更部会 9/12
				←	平成30年度繰越【災害復旧】6棟				
				←	平成31年度【災害復旧】22棟				
				←	平成31年度 修理・修景 8棟				
					令和2年事業			令和2年計画	

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
文化庁指導	伝建審議会 (第2回)		現状変更部会 (第2回) 1/18	伝建事業に関する啓発事業 (長谷の観音市)		<ul style="list-style-type: none"> ・被災した242棟に対し181棟(74.8%)まで工事完了。災害復旧工事を継続していく方針を国・県と確認。 ・特定物件2件追加、錯誤による3件解除して修理困難な案件の修理を進めた。「伝建保存活用計画」の見直しが必要であるが、策定に至らなかった。 ・伝建地区内にゲストハウス(観光交流課担当)が完成した。また、地区内に市営住宅(建築住宅課担当)が可能かどうかの検討に協力した。小規模な修理は、街なみ環境整備事業(管理計画課担当)で対応した。建築基準法緩和と条例の改正手続きを建築住宅課と連携して進めることができた。 ・県中部地震で休止していた倉吉町並み保存会による防災訓練を11月にすることができた。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ○特定物件の追加・削除をしながら、保存修理・災害復旧事業を進めたが、職人・資材不足、所有者の資金繰り等により修理目標を達成することができなかった。 ○非特定物件が解体され空地化を食い止めることができず、保存活用計画の見直しが急がれる。 ○関係部局と協力しながら、伝建地区の事業を進めることができた。
					→				
					→				
					→				
	建築基準法緩和申請・手続			令和2年申請					
	倉吉町並み保存会 防災訓練 11/10								

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	12 文化財の保存、活用、伝承	2 指定文化財の整備・保護	文化財	← [史跡維持管理]					
				← [大御堂廃寺保存活用計画策定]				整備計画準備	
				← 指定文化財候補の調査	5/31策定委員会				9/5策定委員会
				← [小川家住宅修理・小川氏庭園保存処理]	大御堂廃寺跡遺物調査				
				← [桑田家住宅修理]					
				← [大日寺古墓群修理]	5/26文化財協会総会・研究発表会		文化財協会「講演会」古代寺院 7/27		
		3 埋蔵文化財の発掘調査	文化財	← 発掘調査 両長谷遺跡第2次 (産業廃棄物処分場整備)					
				← 発掘調査 中尾遺跡第3次 (大谷工業団地) 実績					
				← 立会調査 向山メガソーラー					
				← 試掘調査					
				← 塚ノ山古墳 4/22-6/24	駄経寺町2丁目地区(大御堂廃寺跡) 5/13-7/10			横田地区(追加) 8/20-8/27	
				← 遺物整理作業					

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
13	親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	1 郷土の文化芸術、伝統文化を学べる場の提供	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展「金澤翔子展」(6～5/6) ・考古収蔵品展 ・歴史民俗資料館(平成 倉吉の歩み) ・土天神館外展示(倉吉淀屋) 	<ul style="list-style-type: none"> ・土天神館外展示(円形劇場フィギュアミュージアム) 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術所蔵品展(6/29～7/21)「花の咲く風景/大坂弘道作品展」 ・歴史民俗資料館「夏の風物詩～民具とことわざ～」 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術収蔵品展(7/31～9/5)「没後50年中井金三展/米本一郎山を描く/大坂弘道作品展」 ・考古所蔵品展「国分寺と古代官衙」 ・歴史民俗資料館「昭和の風景と倉吉餅」 			
		2 トリエンナーレ美術賞(菅楯彦大賞)作家選考	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦委員の選考により推薦委員36人を選定。 ・推薦委員に作家の推薦を依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・審査委員と作家選考会の日程調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦委員3名から推薦辞退の連絡を受ける。 ・作家選考会(東京)6/23、指名作家を確定。 ・シード作家4名を含め37名の指名作家に出品依頼を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・指名作家37名全員の出品承諾を得る。 		
		3 地域の文化資源の活用	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・自然ウォッチング/天体(13日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然ウォッチング/打吹山の動物(19日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然ウォッチング・植物(29日) ・博物館講座/市展ワークショップ(一字書に挑戦) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然ウォッチング/おさかな教室(27日) ・博物館講座/平成 倉吉の歩み(6日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然ウォッチング/天体(10日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然ウォッチング/宇野海岸の植物観察(7日) ・博物館講座/彫刻めぐり(28日) 	

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
<ul style="list-style-type: none"> ・美術収蔵品展(10/2～11/4) 「没後30年福留章太展/没後10年桑野博利展/大坂弘道作品展 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術所蔵品展(11/29～1/9) 「大坂弘道作品展/描きたくなる人物」 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料館「引き札と倉吉の町並み」 		<ul style="list-style-type: none"> ・美術収蔵品展「倉吉の民芸/大坂弘道展 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作文華展の開催(18～22) 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○特別展「金澤翔子展」にはじまり、恒例の市展・創作文華展の開催、県展等を計画どおり実施し文化芸術に親しむ場を提供出来た。各部門の所蔵品を季節や作家の生没の節目に併せて時機を捉えて取り組んだ。 ○博物館HPをリニューアルしたことで、情報を捉えやすいと市民の方に好評であった。
				<ul style="list-style-type: none"> ・考古所蔵品展「人物埴輪/装飾須恵器」 ・博物館HPのリニューアルを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土天神の館外展示は、従来の倉吉淀屋の他に円形劇場でも実施した。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県美術展覧会(11/9～25) 					A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年開催予定の第10回菅橋彦大賞展の準備を滞りなく進めた。 ○指名作家37名全員の出品承諾を得ることができ、菅橋彦大賞の認知度が上がってきたものと思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ・京都文化博物館との会場日程調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年の審査会日程調整 ・京都文化博物館と会場借り上げ等について協議 			<ul style="list-style-type: none"> ・京都文化博物館での展覧会内容審査において質の高い展示内容であると評価され、会場使用経費が半額となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都文化博物館へ会場借上申請を行う。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・自然ウォッチング(6日、27日・県立博物館共催) ・博物館講座/小鴨氏の攻防(5日) ・天皇陛下即位記念展/光格天皇の事績とその生母大江磐代君展(22～11/4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然ウォッチング/天神川のサケを見よう(10日) ・博物館講座/星座早見盤づくり(16日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然ウォッチング/部分日食を見よう(26日) ・博物館講座/令和の祈り(7日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然ウォッチング/小鴨川の水鳥を見よう(13日) ・博物館講座/倉吉の民芸(18日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座/長谷寺研究の最前線(16日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然ウォッチング/春の打吹山を見よう(29日) 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナウイルス感染拡散防止対策として2回の博物館講座を中止した。2回以外の博物館講座とウォッチングは計画どおり実施し、地域の文化資源を活用して取り組んだ。 ○当初計画になかった天皇陛下即位記念展に取り組んだ。皇室と倉吉とのゆかりを光格天皇の生母大江磐代君を取り上げ広く市民に周知できた。今後も時機を捉え、大江磐代君の顕彰に取り組みたい。

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
吉を担う人づくり・まちづくりの推進	14	豊かな心を育む図書館づくりの推進	1	図書館	自閉症啓発展示（世界自閉症啓発デー民間団体・福祉課連携事業）	子どもの読書週間PR（展示・クイズなど） 改元の歴史 本で振り返る平成	市立図書館開館30周年 芥川賞・直木賞受賞作品を読もう	市立図書館開館30周年 アポロ11号月面着陸50周年 芥川賞・直木賞受賞作品を読もう	アポロ11号月面着陸50周年 第2次世界大戦開戦80周年・戦争と平和 星空を見上げてみよう☆ 英語学習資料収集計画立案	動物愛護週間PR 防災について考えよう 生涯学習講座PR展示（生涯学習課連携事業） 英語学習資料購入
			2	図書館	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 33人 1歳6ヶ月 33人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 28人 1歳6ヶ月 37人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 26人 1歳6ヶ月 29人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 36人 1歳6ヶ月 32人 看護大・短大との相互協力の拡充 オレンジネットワーク講演会（7/12 34人） 農業者のための図書館活用講座（7/13 51人） おてんきひろば（7/27 90人）	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 26人 1歳6ヶ月 32人 一日図書館員（8/7・8・9 24人） 夏休み工作教室（ブックカバーづくり 8/1 7人） （本型ボックスづくり 8/8 8人） クイズラリー（7/19～8/28 20人）	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 20人 1歳6ヶ月 26人 県立美術館PR事業（ワークショップ）実施（9/7 30人） 開館30周年記念事業（第1弾）実施（9/29 40人）
			3	図書館	山上憶良短歌賞全国公募・文芸活動の推進	山上憶良短歌賞実行委員会開催（5/10） 実施要項決定 広報媒体（ポスター・チラシ）作成・配布開始 市ホームページ等に掲載 第1回倉吉文芸編集委員会（5/10） 実施要項決定	全国結社などに広報協力依頼 倉吉文芸広報	県歌人会による小学生作歌指導 山上憶良を学ぶ授業 倉吉文芸作品受付	倉吉文芸作品受付	倉吉文芸作品受付

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
<p>秋の催し 第73回読書週間啓発展示</p> <p>防災啓発 わがまちの防災マップ</p> <p>生涯学習講座 PR展示（生涯学習課連携事業）</p> <p>英語学習コーナー設置</p>	<p>第73回読書週間啓発展示</p> <p>生涯学習講座 PR展示（生涯学習課連携事業）</p> <p>鳥取県の民芸品（県連携事業）</p> <p>中高校生向資料収集計画立案</p> <p>中高校生向資料の購入</p>	<p>12/3～9は「障害者週間」 障がい相談窓口 支援の取組・関連情報提供（福祉課連携事業）</p> <p>雑誌を楽しもう</p> <p>英語多読学習法講演会（県立図共催事業 12/1 47人）</p> <p>英語学習支援講演関連展示</p> <p>中高校生向資料の購入</p>	<p>新春特集 倉吉いか（愛好者協力）</p> <p>中高校生向資料の購入</p>	<p>ベトナムの食を知ろう（関金公民館連携事業）</p> <p>中高校生向資料の購入</p>	<p>津山・鏡野町の観光ポイント（商工会議所連携事業）</p> <p>自殺予防パネル展示（県・健康推進課連携事業）</p> <p>中高校生向資料の購入</p> <p>英語学習支援資料の購入</p>	B		<p>○県市をはじめ多くの機関と連携し、話題に富む多くの展示を実施した。読書意欲高める効果もあり、来年度も継続して行いたい。</p> <p>○ニーズが高い英語学習資料、更新が十分でない中高校生向資料も継続して購入したい。</p>
<p>ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 23人 1歳6ヶ月 28人</p> <p>ぬいぐるみのおはなしかい（10/26・27 9人）</p>	<p>ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 31人 1歳6ヶ月 29人</p> <p>開館30周年記念事業（第2弾）川端誠絵本ライブ・講演（11/10 236人） （市内4小学校訪問11/11・12） 学校図書館連携スタンプラリー（鴨中せきがね図 11/1～30 達成者8人） 小道具作成講座（11/17 2人） 開館30周年記念事業（第3弾）本と自分史製作講座（11/3・30 5人）</p>	<p>ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 25人 1歳6ヶ月 26人</p> <p>開館30周年記念事業（第4弾）真珠まりこ講演（12/15 220人）</p>	<p>ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 28人 1歳6ヶ月 29人</p>	<p>ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 27人 1歳6ヶ月 28人</p>	<p>ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月（中止） 1歳6ヶ月（中止）</p> <p>家庭での読み聞かせの普及を目的とする好評のブックスタートは今年もボランティア、関係課の協力で円滑に実施できた。開館30周年を記念し、絵本作家によるおはなし会、ワークショップ、講演などを行い多くの市民に喜んでいただくとともに、図書館活動をPRした。また引き続き小学校・中学校と連携してワークショップ・講演を実施し、子どもたちの関心を高め想像力を刺激し読書意欲を高めることができた。</p>	A	B	<p>○読み聞かせの普及に効果があるブックスタートや市内学校と連携した絵本作家講演やワークショップは好評で、来年度以降も継続して実施し読書活動の啓発に役立てたい。</p>
<p>山上憶良短歌賞作品受付</p>	<p>県歌人による小学生作歌指導</p> <p>山上憶良を学ぶ授業</p> <p>大人のための短歌教室（11/27 9人）</p> <p>山上憶良短歌賞作品受付</p> <p>第2回倉吉文芸編集委員会（11/1）</p> <p>第3回倉吉文芸編集委員会（11/19）</p>	<p>応募作品取りまとめ</p> <p>山上憶良短歌賞審査方法検討会（12/24）</p> <p>倉吉文芸編集開始</p>	<p>山上憶良短歌賞第1次審査会（1/15）</p> <p>倉吉文芸編集</p>	<p>山上憶良短歌賞受賞作品集編集</p> <p>山上憶良短歌賞最終審査会（2/13）</p> <p>第4回倉吉文芸編集委員会（2/18）</p> <p>倉吉文芸編集</p> <p>倉吉文芸表彰式</p> <p>倉吉文芸発行（2/23）</p>	<p>山上憶良短歌賞受賞作品集編集</p> <p>受賞作品集発行（3/13）</p> <p>山上憶良短歌賞は応募数が4,250首と昨年度を大きく下回った。教員の働き方改革、県の類似事業の新設などにうよるものと思われるが、一方、一般は増加し47都道府県・海外から応募があり、まちのイメージアップに寄与し、倉吉と山上憶良の結びつきを広くPRすることができた。</p>	B		<p>○山上憶良短歌募集事業は小中高校へのPR方法の一層の工夫が必要である。教員の働き方という学校現場の問題が応募数減少の理由とすると回復は簡単ではないが、周知期間を長くするなど対策を検討したい。一般は短歌団体を通じた広報を継続し、より多くの人に当該事業のことで知らってもらい、応募数の増加に結びつけたい。</p>